令和7年(2025年)3月号②

学校通信

和の光

宝塚市立西谷中学校



「自分の一歩」

宮澤 章二

いま わたしの踏みしめる一歩は だれか他の人の一歩ではない わたしの足が地上に刻む一歩は いつでも わたし自身の一歩なのだ

他の人より一歩先を歩くからといって 他のひとより優れているとは限らない 他の人より一歩後を歩くからといって 他の人より劣っているとは限らない

自分の目標を定めて歩き出したのだから 自分の一歩をしっかりと信じて進もう ----その決意が 最後まで歩く力を生む

出発点には<人生>など まだない 到達点にこそ わが<人生>はあるのだ 歩きつづけ生きぬいた尊い証明として

3年生の皆さんは間もなく9年間の義務教育を終えて、それぞれの進路先に進んでいくことになります。私は、生徒朝礼や学校通信で「目標を見つけることの大切さ」・「日々の努力の大切さ」について話してきました。卒業まであとわずかですが、それぞれの進路先でもこの2点については忘れないで欲しいと思っています。

さて、この学校通信「和の光」も今年度発行できる回数は残り僅かとなりましたが、3年生のみなさん、そして1年後・2年後に卒業する1・2年生のみなさんにも宮澤さんの詩「自分の一歩」を送りたいと思います。

■44名の仲間と築いた想い出~ふれ合い運動会~

















園児と中学生によるダンス









園児と中学生による大玉ころがし









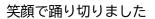
白熱するリレーの様子

















西谷の伝統であるふれ合い運動会を写真で振り返ってみました。園児と仲良く踊ったり、園児・児童と一緒に走ったり、中学生の優しさがたくさん見受けられました。

また、中学生のダンスでは全学年で協力 して笑顔一杯に躍動感の溢れる踊りを披露 しました。

ふれ合い運動会が西谷のよき伝統として いつまでも続いて欲しいと願っています。